

地域安心ふれあい事業で 新たな支え合いのしくみづくり

～地域福祉推進市の取り組みを紹介します～

少子高齢化や、一人暮らし世帯などの増加により、家族や地域のつながりが希薄になりつつある中で、地域で孤立している高齢者や家族の介護で悩んでいる方など、さまざまな支援を必要とする方が増えています。

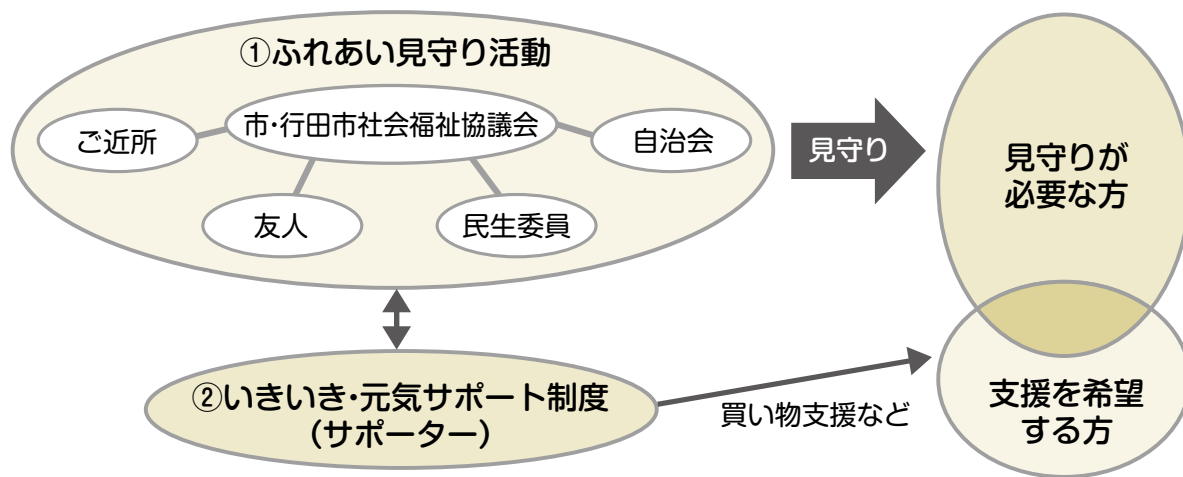
これらの課題を公的な福祉サービスだけで解決することは難しく、市民と行政がともに手を取り、地域のさまざまな課題を解決していく必要があることから、市では「新たな支え合いのしくみづくり」に取り組んでいます。

この取り組みが、「地域福祉推進市」として国から指定を受け、今後、モデル事業として、市民の皆さんとともに誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めてまいりますので、ご理解と積極的なご参加をお願いします。



地域安心ふれあい事業（安心生活創造モデル事業）

今年度は、忍・行田・佐間・長野地区をモデル地区として、市と行田市社会福祉協議会が連携し、地域の見守りネットワークの構築に取り組みます。また、いきいき・元気サポーターが買い物支援などのサービスを提供します。



①ふれあい見守り活動

市と行田市社会福祉協議会が連携し、市民や民生委員、関係機関とのネットワーク構築を進め、見守り体制の充実を図ります。みんなで力を合わせて見守り活動を行い、一人暮らし高齢者などが地域で安心して暮らせるように取り組みます。

10月から12月にかけて、モデル地区における一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、一人暮らし障害者、障害者のみの世帯などを対象に、福祉サービスの利用実態や利用意向などについて調査を行いますので、ご協力をお願いします。